



# 神奈川県の疫病関係石造物 — コレラを中心に —

角南 聡一郎氏

神奈川大学日本常民文化研究所 所員  
国際日本学部 准教授

日時: 2021年1月20日(水) 17:30~19:00

会場: Zoomミーティング 【開場: 17:15】

申込方法: 1月18日(月)12:00までに、ご氏名とご所属を明記し、[jomin-kenkyukai@kanagawa-u.ac.jp](mailto:jomin-kenkyukai@kanagawa-u.ac.jp)までメールをお送りください。追って参加ID/PWを送信いたします。

# 神奈川県の疫病関係石造物

## ーコレラを中心にー

2020年はコロナ禍に終始した年であり、その終息は未だ見えない。このような状況はかつて人類史上幾度もあり、人々はこれに惑わされながらも抗おうとしてきた。その足跡は様々な場所に記され刻まれており、感染拡大に伴って造られたモノにも認められる。

一例をあげれば、疫病関係の墓標や供養碑、疫病除信仰碑といった石造物がそうである。

そこで本発表では疫病と石造物の関係について概観し、神奈川県下の、近世以降に造立されたコレラにまつわる石造物を紹介しつつ、人々がコレラ禍という非常事態とどのように対峙したかを考察する。